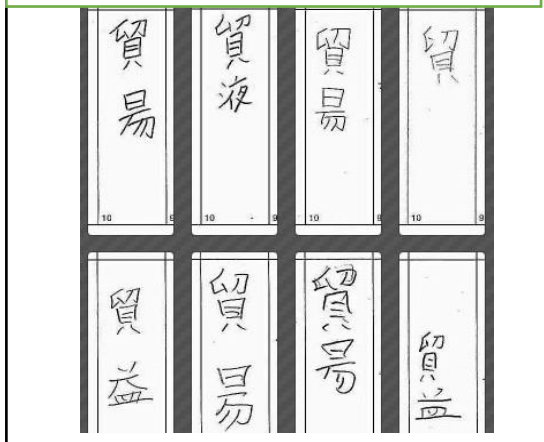


課題のある小問についての分析

中1国

2

【誤答例】「貿」のみ正しく書いている場合の答案



- ④ 荷物をへらす。  
③ 悲しい出来事に心がミダれる。  
② 外国とボウエキを行う。  
① 毎朝、ギユウニユウを飲む。

(2) 次の――線部のカタカナを、漢字に直して書きなさい。  
(点や画をきちんと書くこと。)

正答

貿易

解答類型

☐ 正答

☐ 一番多かった解答

解答類型 (定義)	類型 番号	正誤	反応 率	答案 確認
正答	1	○	49.8%	確認
「貿」のみ正しく書いている場合	2	×	11.2%	確認
「易」のみ正しく書いている場合	3	×	9.6%	確認
上記以外の解答	9	×	13.8%	確認
無解答	0	×	15.6%	

大問2(2)②

【漢字を書く】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	49.8	60.0	▲ 10.2	61.1	▲ 11.3
出題のねらい	小学校で学習した漢字を書くことができる。				
誤答分析と考察	「貿」「易」小5年の配当漢字であるが、間違えやすい漢字には同音の漢字や似た形の漢字などが多いが、「貿」の見正しく書いている場合の誤答例をみると、「易」と「易」の混同とみられる誤答が多い。また、「貿易」の漢字は他の出題された漢字に比べて、国語の授業や普段の生活の中で書く場面が少なく定着がみられなかったのではないかと考えられる。				
指導に当たって	漢字を習熟させるためには、日頃から生徒が漢字に触れる機会をできるだけ増やす必要がある。特に漢字を書く力を養うためには、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる習慣と使い方を身に付けていくことが重要である。文脈に即して適切に用いることができるよう、授業において意図的に取り上げるなどの工夫をしながら、学習させることが大切である。さらに、国語科のみならず各教科等でも積極的に使用するよう指導することも重要である。 また、漢字の成り立ちの学習で、特に会意文字と形声文字をしっかりとおさえることが大切である。漢字のほとんどが形成文字であることや、その「音符」と「意符」を表すこと(「意符」が部首になり、「音符」が読みになる)を理解させる。こうした漢字の仕組みやきまりを教えることが漢字の指導には重要となる。 (「易」→音読みした場合、ほとんどが「-OU」と読む。「易」→音読みが「-I」、「-EKI/-AKU」となることが多い。)				